

エコアクション21

令和5年度

環境経営レポート

対象期間: 令和5年6月1日～令和6年5月31日

作成年月日令和 7年 2月 15日

第 18 号



株式会社 遠州工務店

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲及び実施組織図
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画（R5.6.1～R6.5.31）
6. 環境経営目標の実績
7. 環境経営活動の取組み結果の評価、次年度の計画
8. 環境関連法規の取りまとめ及び法規への違反・訴訟等の有無
9. 代表者による全体取組み状況の評価及び見直し・指示

1. 組織の概要

事業所及び代表者

株式会社 遠州工務店
代表取締役 齋木 薫

所在地

本社 : 静岡県袋井市葵町1丁目10-10
TEL 0538-43-5531 FAX 0538-43-8137

倉庫 : 袋井市月見町1-19

資材置場 : 袋井市鷺巣1364-1

鷺巣圃場 : 袋井市鷺巣1484-1 他

中新田圃場1 : 袋井市中新田1497 外15筆

中新田圃場2 : 袋井市中新田1266 外13筆

中新田圃場3 : 袋井市中新田1224 外10筆

東同笠圃場 : 袋井市東同笠1341 外6筆

湊西圃場 : 袋井市湊4195 外

浅羽南圃場 : 袋井市湊松野2685 外

環境管理の責任者

環境管理責任者 齋木 薫
担当者 工事部 齋木 保利
担当者 アグリ部 細田 直孝
担当者 管理部 齋木 みちる

事業の内容

土木工事業

許可番号 静岡県知事許可(特-2)第14981号

建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、塗装工事業、解体工事業

許可番号 静岡県知事許可(般-2)第14981号

事業の規模

	単位	R3年度 (2021年)	R4年度 (2022年)	R5年度 (2023年)
完工高	百万円	244	191	174
従業員	人	9	9	8
敷地面積(本社)	m ²	295	295	295
延床面積(本社)	m ²	200	200	200

産業廃棄物収集運搬業許可

許可番号 第149388号(自社廃棄物運搬のみ)

2. 対象範囲及び実施組織図

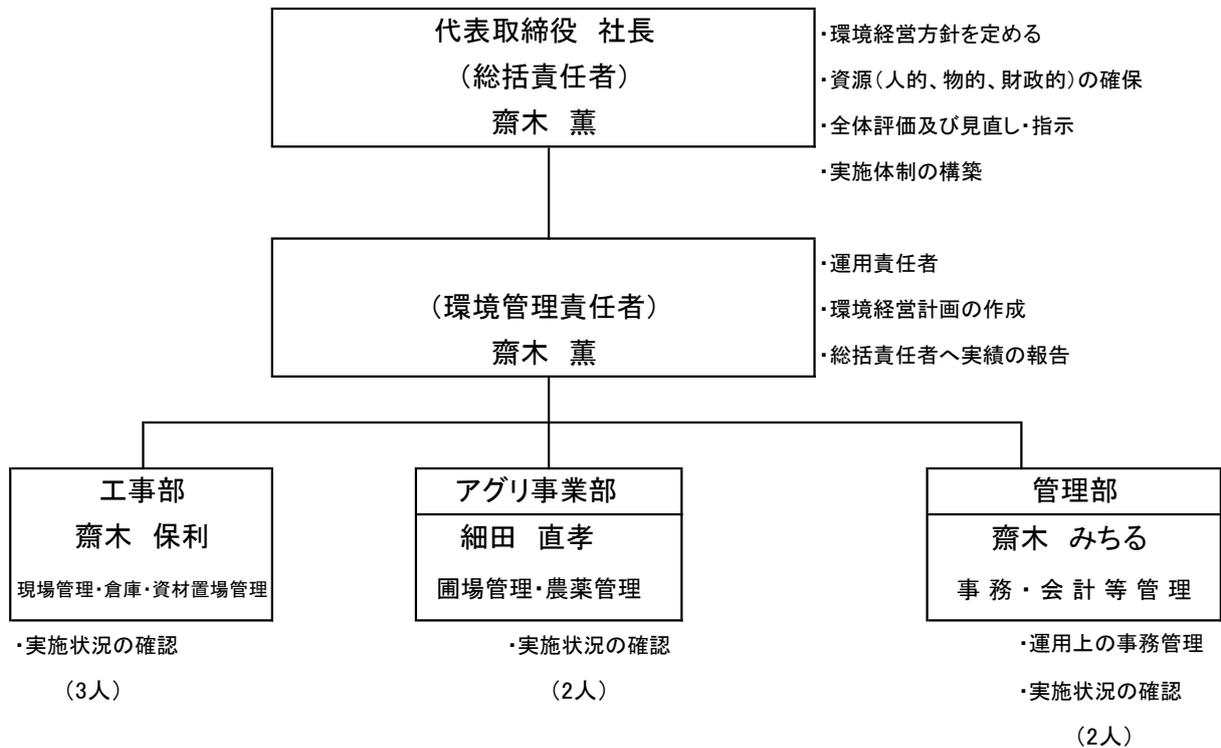
対象範囲

対象組織：株式会社 遠州工務店

本社、倉庫、資材置場、鷺巣圃場、中新田圃場1、中新田圃場2
中新田圃場3、東同笠圃場、湊西圃場、浅羽南圃場

対象活動：建設業(土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、
塗装工事業、解体工事業及び農業(白葱野菜等)

(株)遠州工務店 エコアクション実施組織図



作成責任者 齋木みちる
発行日付 R5.6.1 確認
保存期限 R12.6.1

環 境 経 営 方 針

【環境経営理念】

「つくる」ことを通して「もったいない」の精神を育み、経営面では業務の効率化を図り、エネルギーの無駄削減をめざします。

【基本的方向】

1. エコアクション21ガイドラインが要求するP/D/C/Aマネジメントに全社員が積極的に参加すると共にその保全に努め、継続していきます。
2. 地球環境保護のため、水資源の節約と二酸化炭素排出の低減に努めます。
3. 廃棄物排出量の削減に努め、廃棄物及び化学物質(農薬)を適正に管理します。
4. 再生資源の有効活用を図ります。
5. 環境関連法規を遵守し、地域社会との共生を図ります。
6. 当社の環境配慮の取組みを実施し、その状況を環境経営レポートを通して公開します。

株式会社 遠州工務店
代表取締役 齋木 薫

作成責任者	齋木みちる
発行日付	H19.6.1
改訂3	R2.2.1
保存期限	R7.6.1

4. 環境経営目標

※R5年度(2023年)目標

項目	単位	R2年度(2020年)	R3年度(2021年)	R4年度(2022年)	過去3年間の平均値(基準)	今年度増減目標R5年度(2023年)	目標数値 R5年度(2023年)
完工高(建設)	百万円	295	233	182	237		
〃(アグリ)	〃	9	11	9	10		
購入電力量	kwh	3,611	3,248	3,044	3,301	-0.1%	3,298
灯油使用量	ℓ	225	354	232	270	-0.1%	270
ガソリン使用量	ℓ	1,989	2,073	2,344	2,135	-0.1%	2,133
LPG使用量	kg	7	8	7	7	0.0%	7
○購入電力量	kwh	698	98	110	302	0.0%	302
○ガソリン使用量	ℓ	3,655	3,684	3,363	3,567	0.0%	3,567
○軽油使用量	ℓ	12,050	12,826	9,902	11,593	0.0%	11,593
CO2排出量	kg-CO2	46,953	49,494	40,987	45,811	-0.1%	45,766
水使用量	m ³	174	77	90	114	0.0%	114
一般廃棄物焼却量	kg	18.0	54.0	30.0	34.0	-0.1%	33.9
○産業廃棄物排出量	t	206.6	395.7	167.9	256.7	削減	
環境配慮事業	件	4	5	5		維持	5

注1)R3年度(2021年)は、2021年6月～2022年5月の期間をいう

注2)○は現場で発生した環境負荷で売上に比例する項目

(以下同じ)

注3)空白欄は年度状況により変化するため未加入とする

注4)化学物質は適正管理とする

※ 中長期目標

基準完工高 2億円程度

項目	R6年度(2024年)	R7年度(2025年)	R8年度(2026年)
購入電力量	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%
灯油使用量	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%
ガソリン使用量	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%
LPG使用量	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善
○購入電力量	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善
○ガソリン使用量	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善
○軽油使用量	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善
CO2排出量	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%
水使用量	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善
一般廃棄物焼却量	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%	前年度目標数値 -0.1%
○産業廃棄物排出量	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善
環境配慮事業	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善	前年度目標数値 継続的な改善

作成責任者 齋木みちる

発行日付

R5.6.1

保存期限

R12.6.1

5.環境経営計画 (R5.6.1～R6.5.31)

R5年度

項目	活動内容	責任者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	上期 評価	12月	1月	2月	3月	4月	5月	下期 評価
①二酸化炭素排出量の低減																
電気	・エアコンの設定温度を夏28℃、湿度50%に設定	齋木みちる		○	○	○										
	・扇風機を併用してエアコン使用量を削減する	齋木みちる		○	○	○										
	・窓はブラインドを使用する	齋木みちる		○	○	○										
灯油	・ストーブの設定温度を冬20℃に設定	齋木みちる								○	○	○	○			
	・ウォームビズを推奨する	齋木みちる								○	○	○	○			
燃料	・車両、重機の無駄なアイドリングの禁止	齋木 保利	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・エンジンプレーキの積極的な使用	齋木 保利	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・タイヤの空気圧をチェックする	齋木 保利			○			○				○				○
	・エンジンオイルの交換は5000km毎に行う	齋木 保利			○							○				
	・不要な荷物を降ろす	齋木 保利	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・車両責任者、重機責任者の明確化と定期点検の実施	齋木 保利			○			○				○				○
	・燃費のチェックを定期的に行う	齋木 保利			○			○				○				○
・通勤車両のCo2削減手当の実施	齋木 薫	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
②水使用量の削減																
	・節水の呼びかけ・掲示	齋木みちる	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・水もれ点検の実施	齋木 薫														○
③廃棄物最終処分量の削減																
	・一般廃棄物の分別の徹底	齋木 薫	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・産業廃棄物の分別の徹底	齋木 保利	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
④環境教育																
	・朝礼にて環境教育の時間を取り入れる	齋木 薫			○			○				○				○
	・環境キャンペーン等への参加をして啓発を図る	齋木 薫		○	○	○										
	・活動計画の掲示と各実施内容の目視化を図る	齋木 薫	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
⑤3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進																
Rd	・コピー用紙の両面印刷に努める	齋木みちる	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・業務連絡に電子メールの利用など、ペーパーレスに努める	齋木みちる	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・複合機のカウンタを確認して使用量の減少に努める	齋木みちる	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・複合機のリセットを確認してミスコピーの減少に努める	齋木みちる	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
Ru	・保存分書は紐綴りにして箱ファイルは再利用する	齋木みちる		○	○											
Rc	・ダンボール、雑誌等紙類のリサイクル	齋木 薫			○			○				○				○
	・ペットボトル、瓶、缶等飲料容器のリサイクル	齋木 薫			○			○				○				○
	・トナーカートリッジの回収	齋木みちる			○							○				
	・リサイクル紙BOXの設置と利用	齋木みちる	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
⑥環境配慮事業																
	・ICT活用の施工	齋木 保利	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・業務の効率化	齋木 薫	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・地域社会貢献	齋木 薫		○	○			○		○	○	○	○			
	・化学物質の適正管理	齋木 薫	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・事務所内環境美化	齋木みちる	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・SDGSの意識づけ	齋木みちる	○													○
⑦緊急時対応訓練																
	・緊急事態の想定と対応を検討し、訓練を実施する	齋木 保利														○
	・緊急連絡網は訓練後に検討して対策を図る	齋木 保利														○
⑧化学物質の管理																
	・化学物質の保管と管理の徹底	湯下 芳史	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	・化学物質の使用履歴を文書で保存する	齋木 薫	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

* ○は活動計画、実施して●とする。

作成責任者	齋木みちる
発行日付	R5.6.1
保存期限	R12.6.1

6. 環境経営目標の実績

※R5年度(2023年)目標

項目	単位	過去3年間の 平均値	目標	目標数値 R5年度 (2023年)	実施状況 R5年度 (2023年)	目標数値 との比較	達成状況	評価
完工高(建設)	百万円	237					%	
〃 (アグリ)	〃	10						
購入電力量	kwh	3,301	-0.1%	3,298	3,440	142	4	△
灯油使用量	ℓ	270	-0.1%	270	210	-60	-22	○
ガソリン使用量	ℓ	2,135	-0.1%	2,133	1,957	-176	-8	○
LPG使用量	kg	7	0.0%	7	4	-4	-50	○
○購入電力量	kwh	302	0.0%	302	0	-302	-100	○
○ガソリン使用量	ℓ	3,567	0.0%	3,567	3,879	312	9	×
○軽油使用量	ℓ	11,593	0.0%	11,593	19,650	8,057	69	×
CO2排出量	kg-CO2	45,811	-0.1%	45,799	66,513	20,714	45	×
水使用量	m ³	114	0.0%	114	70	-44	-39	○
一般廃棄物焼却量	kg	34.0	-0.1%	33.9	46.5	12.6	37	×
産業廃棄物排出量	t	256.7	削減	削減	186.0			○
環境配慮事業	件		維持	5.0	5.0	0	0	○

注1) R4年度(2022年)は、2022年6月～2023年5月の期間をいう

注2) ○は現場で発生した環境負荷で売上に比例する項目 (以下同じ)

注3) 空白欄は年度状況により変化するため未加入とする

注4) 化学物質は適正管理とする

注5) CO2の排出量の算出には鈴与商事㈱の平成29年度排出係数0.507を使用した
建設現場の仮設電源は中部電力㈱を利用。係数は 0.507 を使用。

注6) 達成状況の計算式 達成状況=(実地状況-目標数値)÷目標数値×100

注7) 評価 △ もう少し努力 × 目標未達成

注8) 評価 △ については未達成要因をレポート9項に記載

< 原因分析・是正処置 >

購入電力量	原因分析	夏の猛暑でのエアコン使用の増加と残業等での電気使用増加
	是正処置	こまめな節電の徹底
現場でのガソリン使用量	原因分析	遠方の建設現場が多かったため
	是正処置	エコドライブ等の徹底、車両運行計画の実行
現場での軽油使用量	原因分析	建設業請負工事内容による発電機の使用が多かったため
	是正処置	建設業請負工事内容による 使用機械の点検・整備
CO2排出量	原因分析	建設業現場での軽油使用量の増加
	是正処置	建設業請負工事内容による 使用機械の点検・整備
一般廃棄物焼却量	原因分析	事務所での書類整理、年末の片づけによる
	是正処置	日頃の廃棄物の仕訳の徹底

7. 環境経営活動の取組み結果の評価

(R5.6.1～R6.5.31)

活 動 内 容		SDGS関連 付	上期実施 状況	下期実施 状況	取 組 み と 評 価	(達成できなかった原因・要因)	次年度の 取組	△評価 次年度の取り組みでの是正処置
① 二酸化炭素排出 ・燃料・電気 の低減	・エアコンの設定温度を夏28℃、湿度50％に設定	ゴール7	○	○	・稼働表記入の継続		継続	
	・扇風機を併用してエアコン使用量を削減する		○	○	・本年度も実施		〃	
	・窓はブラインドを使用する		○	○	・ 〃		〃	
	・ストーブの設定温度を冬20℃に設定		○	○	・ 〃		〃	
	・ウォームピズを推奨する		○	○	・ 〃		〃	
	・車両、重機の無駄なアイドリングの禁止		○	○	・ 〃		〃	
	・エンジンプレーキの積極的な使用		○	○	・ 〃		〃	
	・タイヤの空気圧をチェックする		○	○	・ 〃		〃	
	・エンジンオイルの交換は5000km毎に行う		○	○	・ 〃		〃	
	・不要な荷物を降ろす		○	○	・ 〃		〃	
	・車両責任者、重機責任者の明確化と定期点検の実施		○	○	・ 点検表を作成し実施した		〃	
	・燃費のチェックを定期的に行う		○	○	・ 年間て算出		〃	
・通勤車両のCO2削減手当の実施	△	△	・ 申請者なし	検討				
用② 減の水 耐使	・節水の呼びかけ・掲示	ゴール6	○	○	・本年度も実施		継続	
	・水もれ点検の実施		○	○	・ 〃		〃	
物③ 削減 廃棄	・一般廃棄物の分別の徹底	11.12	○	○	・本年度も実施		継続	
	・産業廃棄物の分別の徹底		○	○	・ 〃		〃	
④ 育 環 境 教 育	・朝礼にて環境教育の時間を取り入れる	4・8	○	○	・ 環境方針の唱和		継続	朝礼で確認
	・環境キャンペーン等への参加をして啓発を図る		○	○	・ 昨年同様グリーンウエーブ活動（松林下草刈）参加		〃	
	・活動計画の掲示と各実施内容の目視化を図る		△	△	・ 昨年同様掲示はしたが、チェック等の目視化が徹底されなかった		検討	
⑤ ス 3 R リ サ イ ク ル の 推 進	・コピー用紙の両面印刷に努める	ゴール11	○	○	・本年度も実施		継続	
	・業務連絡に電子メールの利用など、ペーパーレスに努める		○	○	・ 〃		〃	
	・複合機のカウンタを確認して使用量の減少に努める		○	○	・ 〃		〃	
	・複合機のリセットを確認してミスコピーの減少に努める		○	○	・ 〃		〃	
	・保存分書は紐綴りにして箱ファイルは再利用する		○	○	・ 〃		〃	
	・ダンボール、雑誌等紙類のリサイクル		○	○	・ 処理日を掲示して、定期的な処理に努めた		〃	
	・ペットボトル、瓶、缶等飲料容器のリサイクル		○	○	・ 〃		〃	
	・トナーカートリッジの回収		○	○	・本年度も実施		継続	
・リサイクル紙BOXの設置と利用	○	○	・ 〃	〃				
⑥ 環 境 配 慮 事 業	・ICT活用の施工	ゴール12	△	△	・本年度は施工実績なし		検討	ICT施行研修参加予定
	・業務の効率化		○	○	・ 現場責任者会議の実行		継続	
	・地域社会貢献		○	○	・ 工事完了後の清掃活動の実施、建設業組合での道路愛護及び河川美化活動参加		〃	
	・化学物質の適正管理		○	○	・ アグリ事業部と農業の管理再確認		〃	
	・事務所内環境美化		○	○	・ 事務所内換気と清掃		〃	
・SDGSの意識づけ	△	○	・ 取組との関連を紐づけしてみた	〃				
応⑦ 訓 練 対 急	・緊急事態の想定と対応を検討し、訓練を実施する	13.15	○	○	・本年度も実施		継続	
	・緊急連絡網は訓練後に検討して対策を図る		○	○	・ 〃		〃	
物⑧ 管 理 の 化 学	・化学物質の保管と管理の徹底	3.11	○	○	・本年度も実施		〃	
	・化学物質の使用履歴を文書で保存する		○	○	・ 〃		〃	

作成責任者	齋木みちる
発行日付	R7.1.31
保存期限	R14.1.31

8. 環境関連法規の取りまとめ及び法規への違反・訴訟等の有無

法規・条例・規制等名称	適用内容または規制基準等	チェック日	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物の分別の徹底 廃棄物処理委託契約書の作成と5年間保存 マニフェストの発行と期間内返却の確認 マニフェストの5年間保管 廃棄物の保管(仮囲い、表示板等) マニフェストの年間集計と知事への報告 不法投棄の禁止	R6.5.31	○
労働安全衛生法	労働者の安全と健康確保、快適な職場環境の形成	R6.5.31	○
再生資源利用省令	再生資源利用計画の作成	R6.5.31	○
リサイクル法	指定副産物の発生抑制、再利用再資源化努力	R6.5.31	○
指定副産物利用促進省令	再生資源利用計画の作成	R6.5.31	○
建設リサイクル法	対象建設工事の分別解体及び再資源化の促進	R6.5.31	○
建設副産物適正処理推進要綱	再生資源利用計画、再生資源利用促進計画の作成	R6.5.31	○
オフロード法	建設機械適合証明	R6.5.31	○
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器所有者によるフロン漏えい点検	R6.5.31	—
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	排出ガス対策型であることの確認	R6.5.31	○
騒音規制法	建設作業の内、騒音の防止	R6.5.31	○
振動規制法	建設作業の内、振動の防止	R6.5.31	○
下水道法	公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上	R6.5.31	○
河川法	河川への排水	R6.5.31	○
浄化槽法	浄化槽の設置、使用廃止の届出、定期保守点検の実施 定期清掃の実施、指定検査機関による水質に関する定期検査	R6.5.31	○
消防法	消火設備の設置、危険物の取扱	R6.5.31	○
建設工事公衆災害防止対策要綱	工事における粉塵対策等の措置	R6.5.31	○
学校環境衛生の基準	学校の工事に対する確認	R6.5.31	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの抑制、エコアクションの構築	R6.5.31	○
循環型社会形成推進基本法	3R(Reduce・発生抑制、Reuse・再利用、Recycle・再資源化)の促進、努力	R6.5.31	○
水道法	水道施設の清潔保持	R6.5.31	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物の適正な処理、産業廃棄物処理委託先の現地確認(委託前及び定期的)と記録の保管(5年間)、産業廃棄物管理責任者の選定	R6.5.31	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	環境への負荷の軽減と、人の健康を保護し、生活環境を保全する	R6.5.31	○
袋井市まちを美しくする条例	市民の健康で文化的な生活を確保する	R6.5.31	○
袋井市産業廃棄物の処理及び清掃に関する条例	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る	R6.5.31	○
袋井市下水道条例	公共下水道の管理及び使用	R6.5.31	○
毒物・劇物取締法	農薬・防除剤等	R6.5.31	—

注1) 遵守状況 “○” 遵守

“—” 該当なし

環境関連法規への違反・訴訟等はありません。又、関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

作成責任者	齋木みちる
発行日付	R6.6.1
保存期限	R13.6.1

確認者	齋木 薫
確認日付	R6.5.31

9. 代表者による全体取組み状況の評価及び見直し・指示

令和5年度は、昨年の9%減の完工高となりましたが、経常利益は増加しました。これは、保険等の解約による営業外収益の増加によるものです。農業の売上は、引続き大変厳しい状況が続いていますが、少し良い方向になっています。アグリ事業部の運営形態の検討をしなければなりません。環境経営目標については、昨年並みというところです。

- 1) 購入電力の使用量について、年間の使用量は少し上昇しています。昨年同様の推移で安定した使用量となっています。
事務所でのエアコン使用が昨年同様に9月(7/13~8/12)の電力量に表れています。
また、1月の使用量の増加は電気ストーブの使用によるものです。
- 2) 化石燃料の使用量も、減少方向ですが、現場でのガソリン使用量が増加しています。河川工事によるものです。また、遠方での建設現場が多かったためと思われます。アグリ事業部での使用が増加した分もあります。
軽油使用量が1月から5月に増加しているのは、河川工事による発電機の使用と考えられます。
- 3) 水使用量について、目標値より減少しているのは農業での使用が少なくなったためと考えます。
- 4) 廃棄物排出量は、分別は徹底されていますが、工種によって梱包資材や養生材等が多く発生する場合があります。梱包材等は、上手に養生材に使用するなどの工夫もしています。
アグリ事業においては、休耕が多く、農薬や肥料も必然的に減少しています。その中でも農薬使用は関係機関と連携して抑えていくこと、また肥料は有機に向けて取り組んでいくことを望んでいます。
一般廃棄物焼却量の増加は、事務所での可燃ごみの増加ですが、日頃の廃棄物の仕訳を徹底することで減少につなげたいと思います。
- 5) 環境経営方針の環境経営理念と共に環境経営目標・計画・実施体制についても継続をします。
- 6) 法律関係は適正に行っています。
- 7) 周辺住民からの苦情もありませんでした。

作成責任者	齋木 薫
発行日付	R7.01.20 (実施日)
保存期限	R14.01.20

SDGS関連付け

① 二酸化炭素排出（燃料・電気）の低減



ゴール7：全ての人の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

② 水使用の削減



ゴール6：全ての人の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

③ 廃棄物量の削減



ゴール11：包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を再現する



ゴール12：持続可能な生産消費形態を確保する

④ 環境教育



ゴール4：全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



ゴール8：包括的かつ持続可能な経済成長及び全ての人の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい（ディーセントワーク）を促進する

⑤ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進



ゴール11：包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を再現する

⑥ 環境配慮事業



ゴール12：持続可能な生産消費形態を確保する

⑦ 緊急事態対応訓練



ゴール13：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



ゴール15：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化・回復及び生物多様性の損失を阻止する

⑧ 化学物質の管理



ゴール3：あらゆる年齢の全ての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



ゴール11：包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を再現する